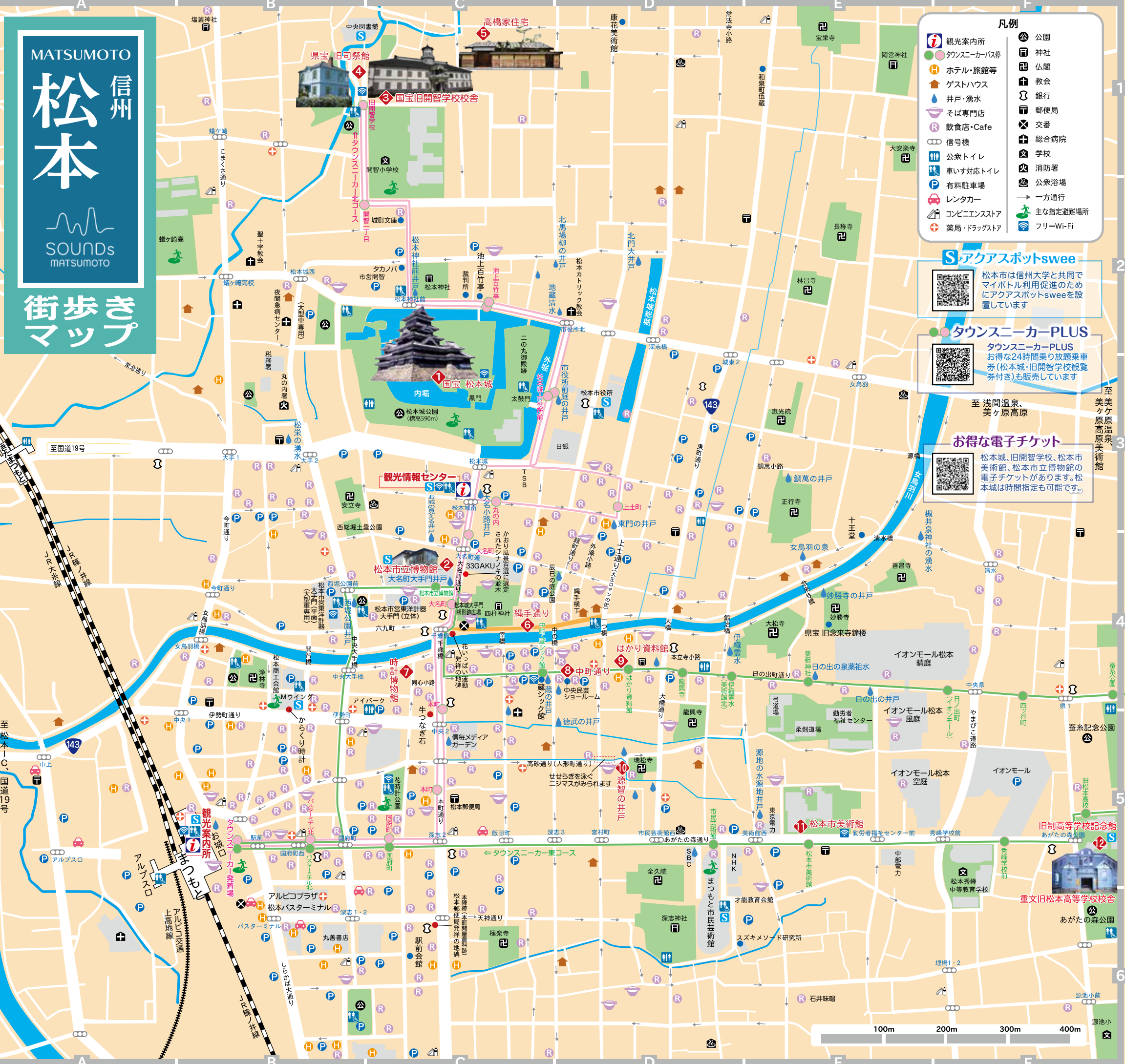






1 C-3

国宝
松本城
Tel.0263-32-2902

開館時間: am8:30~pm5:00 (入場はpm4:30まで)
観覧料: 電子チケット 一般1,200円/小中学生400円
紙チケット 一般1,300円/小中学生400円
休館日: 12/29~31
バス: タウンスニーカー北コース「松本城・市役所前」下車

松本城天守・渡櫓・乾小天守は、秀吉の家臣であった石川数正・康長父子により戦国時代末期1593~94年にかけての築造と考えられています。現存する5重6階の木造天守としては日本最古



2 C-3

松本市立
博物館
Tel.0263-32-0133

開館時間: 1F: am9:00~pm9:00、
2F・3F・子ども体験ひろばアソビバ! am9:00~pm5:00
休館日: 1F: 第3火曜日 (休日の場合は翌日)、
2F・3F・子ども体験ひろばアソビバ! 毎週火曜日 (休日の場合は翌日)、
1F・2F・3F: 年末年始 (12/29~1/3) ※臨時休館あり

観覧料: 一般 (18歳以上) 500円、大学生250円 (団体割引あり)、高校生以下無料。
地域の多様な魅力や情熱を発信し、人々が集い、学び、出会い交流し、未来を創造するための博物館です。



3 C-1

国宝
旧開智学校校舎
Tel.0263-32-5725

開館時間: am9:00~pm5:00 (入場はpm4:30まで)
休館日: 3~11月の第3火曜日、12~2月の火曜日 (休日の場合は翌日)、12/29~1/3

観覧料: 電子チケット 一般600円/小中学生300円
紙チケット 一般700円/小中学生300円
バス: タウンスニーカー北コース「旧開智学校」下車

明治6年 (1873) に開校したわが国最古の小学校のひとつです。色ガラスなど端々に文明開化の息吹が感じられる擬洋風建築です。令和元年国宝指定



4 B-1

県宝
旧司祭館
Tel.0263-32-5725

開館時間: am9:00~pm5:00 (入場はpm4:30まで)
休館日: 3~11月の第3火曜日、12~2月の火曜日 (休日の場合は翌日)、12/29~1/3 ○入場無料

バス: タウンスニーカー北コース「旧開智学校」下車

明治22年 (1889) にフランスのクレマン神父によって建築された西洋館です。セスラン神父が明治34年から27年の歳月を費やし、日本で初の本格的な「和仏辞典」を編纂し始めた建物でもあります。



5 C-1

市重要文化財
高橋家住宅
Tel.0263-33-1818 (開館日以外は 32-5725 旧開智学校へ)

開館時間: am9:00~pm5:00 (入場はpm4:30まで)
開館日: 3~11月の土・日・祝、12月~2月の日曜日 (12/29~1/3は休館)

交通: 旧開智学校から徒歩5分

現存する武家屋敷としては県内でも最も古い (17世紀前半と推定) 建物の一つ。松本藩が藩士の住まいとして所有していた、いわば官舎です。



6 C-4

なわて
縄手通り

城の南総堀と女鳥羽川にはさまれて「縄のように細長い土手」というところから由来しています。四柱 (よはしら) 神社の参道として発達してきました。城下の風景を再現したような各店舗は玩具・骨董・駄菓子ほか、見ているだけでも楽しい歩行者天国通りです。



7 C-4

松本市
時計博物館
Tel.0263-36-0969

開館時間: am9:00~pm5:00 (入場はpm4:30まで)
休館日: 火曜日 (祝日の場合は翌日)、12/29~1/3

観覧料: 一般 500円、小中学生 200円 (団体割引あり)
バス: タウンスニーカー東コース「松本市立博物館」下車徒歩5分

故・本田親蔵氏が収集した貴重な和洋の古時計コレクションを中心に、常時約110点の時計を動いている状態で展示。古時計の時報もお楽しみください。



8 C-4

なかまち
中町通り

白壁となまこ壁の土蔵が立ち並び、時代を遡ったかのような古き松本の風景が広がる蔵の町通り。江戸末期や明治に、この一帯が大火に見舞われ、主要な施設や町屋が多数失われました。再三にわたる火災から守るため、商人たちの知恵で「なまこ壁の土蔵」が造られろに引き継がれています。蔵シビック館は中町の拠点。個性的な店がいっぱい。



9 D-4

松本市
はかり資料館
Tel.0263-36-1191

開館時間: am9:00~pm5:00 (入場はpm4:30まで)
休館日: 火曜日 (祝日の場合は翌日)、12/29~1/3

観覧料: 無料
バス: タウンスニーカー東コース「はかり資料館」下車

蔵づくりの建物の中に全国のはかり約150点を展示。市内の博物館ではユニーク度No.1



10 D-5

げんち
源智の井戸 ※別途「まつもと水巡り」マップをご用意しています。

この井戸は、松本市内の名水の一つで、松本に城下町が形成される以前から飲用に用いられた古い歴史を持っています。天保14年 (1843) に書かれた「善光寺道名所図会」によると、町の酒造業者はことごとくこの水を使い、歴代の領主は制れを出してこの水を保護したといわれています。市内に点在する湧水は「まつもと城下町湧水群」として環境省の「平成の名水百選」に認定されました。



11 E-5

松本市
美術館
Tel.0263-39-7400

開館時間: am9:00~pm5:00 (入場はpm4:30まで)
休館日: 月曜日 (祝日の場合は翌日)、12/29~1/3

観覧料: 電子チケット 一般700円/大学生350円/高校生以下無料
紙チケット 一般800円/大学生400円/高校生以下無料

バス: タウンスニーカー東コース「伊織堂水 (美術館北)」下車徒歩5分

前衛芸術家 草間彌生、書家 上條信山、洋画家 田村一男など、松本ゆかりの作家の作品や、山や音楽をテーマとした作品を収蔵・展示 (特別展は別途入場料)



12 F-5

旧制
高等学校記念館
Tel.0263-35-6226

開館時間: am9:00~pm5:00 (入場はpm4:30まで)
休館日: 月曜日 (祝日の場合は翌日)、12/29~1/3

観覧料: 無料
バス: タウンスニーカー東コース「旧松本高校」下車

ヒマラヤ杉に包まれた重文旧松本高等学校の敷地内。明治以降、多くの人材を輩出した旧制高等学校の教育と精神を伝える、全国初のパンカラ風記念館

